5月9日号 第2580号 2002年(平成14年)
(昭和24年5月10日 第三種郵便物認可)

発行所 財団法人 海上保安協会
〒104-0045 東京都中央区築地 5－3－1
電話 03－3542－3678～9
FAX 03－3541－9085
(毎週木曜日発行)
購読料 月極610円 送料共

海上保安新聞

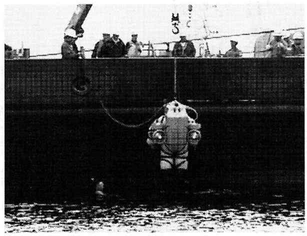
しなやかな発想で21世紀
Nissho 日昇印刷株式会社
〒104-0043 東京都中央区湊1－14－14
TEL 03－3553－3161～4
FAX 03－3551－4898

不審船の潜水調査 2遺体を収容

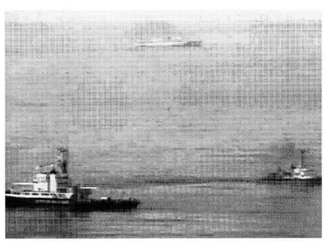
政府、船体引き揚げ検討へ

武器4個、弾帯なども回収

十管本部は、奄美大島沖に沈没している不審船の潜水調査を五月一日から七日まで行った。調査は民間のサルベージ会社二社に委託して行われ、男性の二遺体と銃器など武器四個、弾帯、薬きょうなどが回収された。潜水調査は当初、七日に撤収予定だったが、海底の潮流が早く視界が悪いことから七日も調査が行われた。収容した遺体は不審船の沈没時に回収した二遺体と併せ四遺体となった。政府はこの調査結果を基に船体引き揚げを検討する。



調査のため海中へ降下する潜水士



巡視艇（中央奥）が警戒する中で調査する作業船２隻

中国側と事前協議

調査したのは奄美大島の西北西約三九〇㌔の水深約九五㍍の海底に沈没した不審船とその周辺。深田サルベージ建設の新洋丸（四九八㌧）の有人潜水艇「はくよう」と日本サルヴェージの航洋丸（二、四七四㌧）の大気圧潜水士により調査した。いずれも水深三〇〇㍍の高圧下でも艇内、潜水服内を大気圧に保持でき、遠隔操作で物をつかめるマジックハンドを持っている。

遺体は三日と六日に収容された。いずれも身長一七〇㌢弱、腐敗が進み一部は白骨化しており、カーキ色の防寒ジャンパーを着ていた。

不審船が沈没した東シナ海は冬期は海が荒れているので、風波が治まるのを待ち有人潜水調査が行われた。

現場は日中の排他的経済水域中間線の中国側海域のため、政府は四月十八、十九日に海上保安庁と外務省の担当者を訪中させ、調査について中国側と協議した。中国から二十九日、調査に異議を唱えないことを決定したとの回答が外務省にあった。

沈没不審船については、十管本部が二月二十五日から測量船「海洋」の超音波探査装置と巡視船「いず」（横浜）搭載の自航式水中カメラ（ROV）により沈没位置を中心に二海里四方の海域について調査、その結果に基づき潜水調査が行われた。

事件事故続発の現在 海保の主張が抑止力

本部長会議 縄野長官が訓示

管区本部長会議が四月二十五、二十六の両日、国土交通省の特別会議室で開かれた。縄野克彦長官は訓示で「事故直前で我々の努力で回避できた事例も多い。事故がなぜ起きたのか、なぜ回避できたのかを徹底的に分析してほしい。そのうえで、必ずしも海上保安庁の業務ではないかもしれないが、関係者に警告してもいい。海保が考えていること自体が抑止力になる」と述べた。

縄野長官は「昨年来、不審船事件、麻薬密輸、米国のテロなどが続発、海保の存在が問われている」と前置きし、「一つは装備の問題だが、予算は多くない。国民の安全を守るためにはコストがこれだけかかる、と示していく責任がある」と強調した。

不審船の引き揚げについては「証拠物を押収する必要があるので、関係者の理解を求めていく」との姿勢を示した。密輸・密漁に関しては「国際組織犯罪対策基地を作った。警視庁からの一人も含めた二三人の頼もしい存在だが、この組織におんぶするだけではいけない。それぞれの部署が活動してほしい」と自覚を求めた。

最後に「外国籍の船が多く、外国人船員と混乗するケースも増えている。パナマ船籍のタンカーTAJIMAの殺人容疑事件もある。海保として事前措置がとれないか。幹部だけではなく、職員一人ひとりが考えてほしい」と訴えた。

管区本部長会議で訓示する縄野長官

各管区・教育機関から「ロシアからの水産物密輸問題」「東京湾・伊勢湾における安全確保と運航効率の向上」「ワールドカップ警備対策」「国際化に対応した学生教育」など、テーマを絞った報告があった。

二日目は「危機管理と広報」と題し、電通パブリックアプリケーションズの田中正博氏が講演した。

春の叙勲 53人受章

今年の春の叙勲受章者が四月二十九日付で発表された。海上保安庁関係は五三人で、海上保安業務の要職にあった者、環境が厳しく危険性の高い巡視船艇、航路標識維持管理などの業務に長年従事した者。

五月九日、東京・赤坂プリンスホテルで伝達された後、皇居で天皇陛下に拝謁する。（受章者名は2面に）

潮流

ふ頭で車がよく落ちる場所がある。落ちるたびに海上保安官は捜索しなければならない。ある本部長経験者が言っていた。「海上保安官は、落下防止施設を設置するよう、なぜ提言しないのだろう」。ロシア漁船の積み出し証明書偽造問題や漁船の不正輸出など海上保安庁が関係する事案は多い▼十一管が、沖縄県ポイ捨て条例の適用海域に沿岸域を盛り込ませ、関係団体を集め「沖縄 クリーンコースト ネットワーク」結成へ動き出した。東京保安部の調査がきっかけで合流式下水道改善が全国で動き出したり、各地で廃船処理システムへの取り組みが行われるなど、環境問題では海上保安庁のイニシアチブが発揮されている▼先の本部長会議で縄野長官は「事故直前で我々の努力で回避できた事例も多い。必ずしも海上保安庁の業務ではないかもしれないが、関係者に警告してもいい。海保が考えていること自体が抑止力になる」と述べた。現場を持っている海上保安官はもっと積極的に提言してもいいのではなかろうか。

週間海難情報

4月22日(月)～5月5日(日)

五月五日午前九時三十八分、東京空港事務所から「午前九時過ぎ、松山空港到着予定のヘリコプター（二人乗り）が空港南西約一九㌔の瀬戸内海で消息を絶った」との通報が本庁運用司令室にあった。

松山保安部が巡視船艇五隻、航空機一機を出動させ、捜索したところ、午前十一時二十分ごろ、海上保安庁航空機が行方不明となっていた乗員二人を海上で発見、巡視艇が収容、松山港へ運んだ。二人は病院で死亡が確認された。

今期、海上保安庁が救助した人命、船舶は一九隻、五五人だった。【注】今期は二週間分。

種類別	隻数
衝突	18
乗り揚げ	22
転覆	8
火災	4
爆発	2
浸水	7
機関故障	18
推進故障	4
舵故障	0
行方不明	0
その他	13
計	96

新刊案内
▶好評発売中！海上保安関係図書
海事法令シリーズ④（収録・1月5日現在・全96件）
海上保安六法【平成14年版】 海上保安庁監修／A5判 定価11760円（〒500）
海上保安大学校 海上保安学校 への道【平成14年版】 (財)海上保安協会監修／B6判 定価1470円（〒360）
海洋法と船舶の通航 (財)日本海運振興会国際海運問題研究会編 A5判 定価2730円（〒390）
海洋をめぐる世界と日本 村田良平著／四六判 定価1995円（〒390）
本邦初，画期的な名著!?
CGコミック 海上衝突予防法
海技大学校教授 岩瀬 潔 監修／鈴木卓也 著
法律は難しくない！ 面倒な法律は目で見て覚える
・海上交通の最も基本的な法規，海上衝突予防法をゼロから学べます。
・リアルなCGキャラクターがオールカラーで解説します。
・コミック形式だから，ストーリーに沿って自分で体験しながら法規が理解できます。
A5判 128頁 定価2520円（〒360）
定価・発送費（〒）は消費税込みです
図書目録進呈
成山堂書店 〒160-0012 東京都新宿区南元町4－51 成山堂ビル
TEL 03(3357)5861 FAX 03(3357)5867
http://www.seizando.co.jp E-mail:publisher@seizando.co.jp
振替口座 00170－4－78174